



萩の江だより

第270号

編集発行責任者
 社会福祉法人 方光会
 萩の江
 障がい者支援施設
 施設長 伝野和美

岩手県北上市和賀町藤根14-144-15
 電話 (0197) 71-7066
<http://houkukai.jp/index.html>

主な内容

■北萩寮通信	2
■萩の江通信	4
■和賀の園通信	6
■愛の泉通信	8
■トピックス	10

和賀の園 春を探して ～春先の風物詩『ばっけ』～

万華鏡

「自己決定の楽
 びさを省みい」

私事だが、最近1人暮らしを始めました。実家暮らしと比べて自分で決める機会が多くなつたと思います。今日の献立、いつ掃除洗濯をするか、何を買おうか等、自分の生活を決める上で常に選択が求められます。たとえ選択したとしてもじやがいもの皮をむく時に指を切るなど失敗することや面倒に思うことも多々あるが、自分で生活を形作る楽しさを満喫しております。

それに伴い、昨今提唱されている「利用者の自己決定」について考える機会にもなっています。私自身が選択する楽しさを実感する現在、利用者の決定を尊重できているのか省みる機会にもなっています。それを踏まえて今後は先入観を捨てて、まさに今何を求めているのか言葉やジェスチャーをよく観察し、自己決定を尊重できるよう努力したいと思っております。(知世)



哀悼 小菅公夫 施設長

～心から感謝と敬意を込めて～

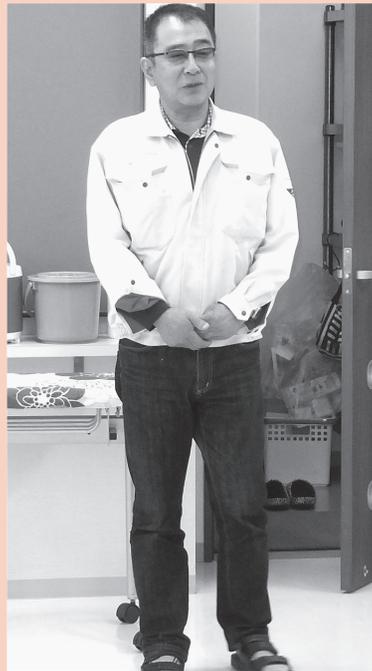
3月23日、北萩寮の施設長「小菅公夫」が永眠されました。28日には葬儀が営まれ、とても多くの方々に最期を見送られました。

施設長は昭和57年に法人の職員となり、平成16年に通所の北萩寮を立ち上げと共に施設長となりました。そこから15年、常に北萩寮の発展に尽力し、利用者や職員を引っ張ってくれました。

「福祉とは？」この質問に対する答えを施設長は「利用者の命を守ること」と即座に答えていました。初代の施設長である片方三郎さんから、そう教えられたと話していたのを今でも思い出されます。

「命」には、生命そのものという意味の他、その方の人生や財産等も含まれていると思います。これからは残った職員で「利用者全員の命」を守っていきます。生前に施設長から教えられた事を一つひとつ思い出し、更なる発展を目指していきます。

施設長、今まで本当にありがとうございました。遠くから北萩寮を見守ってくださいね。
(哲也)



**就労移行支援事業
休止のお知らせ**

施設長の死去に伴い、就労移行支援の職員が代理で管理者の任を務めることになりました。その為、支援に必要な職員数が足りないこととなります。法人として、新たな人材確保の検討を続けてきましたが、充足が難しいと判断し、この度「休止」することしました。移行支援の利用者はB型に利用変更をして頂きましたが、就労移行支援で培った就職への機能は存続させ、B型から就職を目指していきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。
(哲也)

就職おめでとう！

昨年11月からのトライアル雇用を経て、藤村博幸さんが北上市内の企業への就職が決まり、2月末から勤務しています。

これから更なる活躍を期待しています！
(千明)



さとう あきよし
佐藤 晃嘉さん

職員



あべ さきこ
阿部 早紀子さん



たかはし そうた
高橋 草太さん

利用者

4月から、利用者2名、職員1名が新たに仲間入りしました。皆さん、よろしくお願います。
(千明)

新利用者 新職員紹介

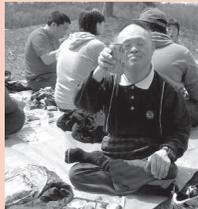
お花見会 ~ in 和賀川グリーンパーク ~



あたたかさ уют... 昼食前にキャッチボール



ノンアルでもうまい!



お花見日和です

4月17日に、お花見が行われました。例年だと、朝から遠出をしていました。が、i koi のオープンを始め、おかげさまで自主生産物作業が益々忙しくなってきたことを受け、近場のお花見スポットで、北萩寮特製お弁当を味わう会となりました。絶好の花見日和で、半袖でも過ごせるくらいのお気候でしたが、桜の開花にはまだちょっと



特製弁当おいしいね



桜はまだかな~



お花見日和です

早かったです。それでも和賀川のせせらぎを耳に散歩をする人たちや、広々とした原っぱでキャッチボールをする人たち、シートの上でのんびりしたりと、思い思いの時間を過ごしました。そして何より、北萩寮特製お弁当が、お花見気分を盛り上げてくれました。桜の開花が待ち遠しいですね。
(千明)

facebook 更新中!



「いいね」お願いします!

ベーカリーショップ

i koi

営業日/月~金曜日
(定休日あり)
時間/10:00~15:00
※GW定休日
4/27~5/7



春の新品!

新年度を迎えました。ベーカリーショップ i koi。春をイメージした店内装飾と、春の新品を加え、皆さまのご来店を心よりお待ちしております。そして、6月にはいよいよ1周年を迎えます。様々なイベントを企画する予定です。お楽しみに!
(千明)

自主生産物の今 ベーカリーショップ i koi



「実は恥ずかしがり屋さん」
Yさんの担当になって1年が経ちました。毎日休まず北萩寮に通っています。
明るく元気なYさんですが1つだけ悩みがあります。それは時間に遅れてしまつて...送迎の時間、作業の時間、食事の時間、毎日の生活の中で何度も職員から声をかけられています。
ある日、Yさんに時間に遅れてしまつ理由を正直に教えて欲しいと聞いてみました。すると予想もなかった答えが返ってきました。「恥ずかしいから背中を押して欲しい。」と小さい声で答えてくれました。皆がいる部屋に入るのが恥ずかしいと言つのです。あんなに明るくて社交的な性格なのに...と思いましたが、それは私が勝手に思い込んでいただけで、Yさんの気持ちを理解しようとしていなかった事を思い知らされました。
今日もまた、時間に遅れてしまつYさんですが、元気に作業を頑張っています。皆の中に入る時、勇気を与えられるように、そつと手を差し伸べていきたいと思つています。
(幸恵)

1年間よろしくお願ひします。

平成31年度・自治会役員紹介



通所部・会長
佐藤 愛恵さん
「司会を頑張ります」



入所部・副会長
大山 靖子さん
「毎日献立発表します」



入所部・副会長
小田島 昭博さん
「色々な事を頑張りたい」



入所部・会長
及川 悦子さん
「司会が上手になりたい」

平成から令和に元号が変わる節目の年に自治会役員を務める4名を、その意気込みと共に紹介します。(克也)



4月

よろしくおねがひします！



みやだて こうへい
宮舘 航平さん

通所利用します！



こだま たくや
児玉 拓也さん



たかはし やすふみ
高橋 康文さん

入所しました！



調理員
しもせがわ のりこ
下瀬川 典子さん



通所部
かねた たかし
金田 貴志さん



農産科
にしむら ゆうと
西村 優斗さん



椎茸科
そとむら ゆたか
外村 豊さん

新職員です



退職者
佐藤 由三子さん
高橋 成美さん
金村 圭子さん
照井 瑞紀さん

退所しました
多田 邦子さん
瀧川 圭史さん



たかはし まきこ
高橋 真貴子さん

通所部へ異動になりました

歓迎!!

3月10日 萩の江 鬼剣舞訪問

3月10日 萩の江



鬼つ子剣舞スタンバイ中



『一番庭』を鑑賞しています

3月10日、北藤根鬼剣舞保存会の皆様が来設され、正面玄関にて「一番庭」、「刀剣舞の狂い」を披露していただきました。その熱いこもった演舞に、利用者もしばし時間を忘れて見入っていました。



また来てくださいね



華麗な舞に心打たれました

代表の阿部喜一郎さんは、「頻りに来られないのが残念ですが、利用者さんに楽しんでいただきた良かったです」と話されていきました。北藤根鬼剣舞保存会の皆様、お忙しい中ありがとうございました。

(克也)



藤根ざぜん草の里 ざぜん草まつり

藤根ざぜん草の里



今年も咲きました



がんばって売ります

3月10日、藤根ざぜん草の里でざぜん草まつりが開催されました。当日は温暖な気候で、群生したざぜん草が来客者を楽しませていました。

(克也)

こころ 通所部です!

萩の江通所部では、利用者と職員で力を合わせ、牛乳パック製の椅子を制作しています。昨年度は好評頂き、多くの椅子を売り上げることができました。今年度も鋭意制作してまいりますので、よろしくお願い致します。

また、日頃から牛乳パックを寄付して頂きありがとうございます。今回は布も頂きましたので、この場を借りて御礼申し上げます。

尤生流一雪会
佐藤桂子様
小原なかり様
岳間沢淑子様
ありがとうございました。

萩の江通所部では、椅子の力バーを縫って頂けるボランティアの方を募集しています。明るく楽しい職場ですので、ぜひ見学に来て下さい。

(菅原)



「まだ見ぬ二面」

萩の江に勤め始めてから2年と少しが経ち、だいぶ職場にも慣れてきました。ですが、利用者の事に関しては分からない事も多くあります。私の担当する利用者の1人は、音や声掛けに対する反応があまり良くなく、発音も上手に出来ません。しかし、この間の1泊旅行の宴会での事、歌が好きで利用者達がカラオケで楽しんでいる時、私の担当する利用者に歌は歌えないだろうと思いつつも、マイクを渡してみました。すると、なんと独特にそしてなんと楽しそうに歌ってはいませんか。こんな一面があるのかとこの初めて見る光景は私に今まで見てきたどの歌よりも印象的なものになり、それと同時に利用者について知らない事がまだまだあるのだとも感じました。今後、利用者と関わる中で利用者達のまだ見ぬ一面にだけ出会えるか楽しみです。

(菅原)



こぼさないように



まずチョコを割って



完成～！

バレンタイン恒例の調理実習を生活介護のメンバーで行いました。今年チョコプリン作りに挑戦。数人の利用者と一緒に買い物へ出掛け、材料を選ぶ事から始めました。必要な材料をゲットし、いざ調理開始。チョコを細かくする、牛乳を温めてチョコを入れて混ぜる、出来た液をカップに注ぐといった工程をみんなで順番に行いました。プリンも無事に固まり、みんな美味しく頂きました。(知佳)



美味しいね♡



中の具は何かな？



東北東はこっち！？

節分といえは豆まきを思い出しますが、最近では恵方巻きを取り入れる方が多くなっていると思います。和賀の園でも東北フードサービスさんの協力を得て給食に提供して頂きました。今年の恵方は東北東ということ、食堂の壁に方角を表示しました。その方角を見て食べる人、お腹が空いていてそれどころじゃない人等食べ方は様々でしたが、みんな大きくて美味しい恵方巻きに大満足でした。(真樹)



第1避難場所に

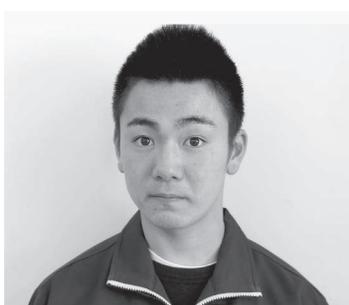


慌てず落ち着いて

避難訓練
3月26日、和賀の園の調理室から出火した事を想定し、避難訓練が実施されました。安全・迅速に避難する事を目標にし年に3回行っています。訓練に慣れできていく様子が見られ施設長からも緊張感を持って取り組むようようお話がありました。今後万が一に備え訓練に臨みたいと思います。(真樹)



退職者
2月28日付で生活支援員の須藤美幸さん、3月29日付で医務の阿部一枝さんが、都合により退職されました。今まで本当にありがとうございました。(真樹)



たかはし しょうき 高橋 梢希さん

4月から花巻清風支援学校から高橋梢希さんが新しい仲間として加わりました。車や重機が大好きです。どうぞ宜しくお願いします。(真樹)





雪の中から

今年はずっと雪も少なく暖かい冬だったためか、ばっけが顔を出すのもいつもより早いようでした。

ある天気の良い日、ビニール袋を手に、いざ施設の近くのばっけ群生地へ出陣！

あちらこちらに沢山のばっけが顔を出しているのを発見し、利用者達は一斉に採り始め、しばらくするとばっけが入っている袋を自慢げに見せ合っていました。

このばっけは施設で『ばっけ味噌』に加工して販売していますが、期間限定の商品です。ぜひお早めにお買い求め下さい！

(真樹)



これがいいかな？



たくさん採れたよ！



ここにもあった♪



これが、ここで…

生活介護の活動の1つとして将棋に取り組んでいます。利用者の中には将棋歴13年の方もいて、将棋を教えてください。将棋を通して分かりやすく教える事の大切さや難しさ、また将棋の楽しさを



将棋を通じて広がる輪

自治会役員選挙

次年度の自治会役員選挙が行われました。会長に3名が立候補し、みんなの前でそれぞれの思いを演説しました。翌日に投票用紙に記入して投票。

集計の結果、5名の方が選出されました。

新自治会役員をどうぞ宜しくお願いします。

(真樹)



真剣勝負！

知ってもらえる喜びも感じているようです。楽しみの1つに職員との対局もあり、お互い本気の勝負です。

どなたか一緒に対局してみませんか？

(中村)



頑張ります！



よし、決めた！

「チームワーク」

食堂ひだまりには7名の利用者が週替わりで3名ずつ勤務しています。それぞれ洗い物や食器拭き、フロア一担当等役割を持って仕事をしています。

食堂というところもあり12時過ぎには沢山のお客様が来店され、ピーク後は下膳や洗い物が始まります。短時間で集中して各自が担当の仕事をごさなければなりません。そこで大切なことは利用者と職員で呼吸を合わせ、各自の担当の仕事をやり返すということ。得意不得意はありますがお互いフォローし合ったり、ひたむきな姿を目にするとうれしい気持ちになります。『ランチ沢山売れたね』『皆頑張ったね』こんな会話をすると達成感に満ちた笑顔を見せられます。

利用者も職員も皆が必要不可欠な仲間となり、チームひだまりとしてチームワークを大切に来店されるお客様への感謝を忘れずに頑張っています。

(菜留子)



ボウリング大会

2月17日(日)、北上ヤングボウルで男性6名・女性1名によるボウリング大会を行いました。

最初の1投目「頑張るぞー!」と気合充分に力強く投球。「あれ? おかしいな」と首を傾げる人、小さくカツプポーズをする人、肩を落とし戻ってくる人と、様々な1ゲーム目が終了。最後の2ゲーム目では心も体もほぐれ、ストライクやスベアの連続に喜びのダンスやハイタッチ! 笑顔が溢れていました。(片方)



今日のメンツはこちら

3月3日にアメリカカンワールド内のパーティハウスで、愛の泉主催のカラオケ大会が行われました。

男女合わせて8名の参加と

カラオケ大会



YMCA〜♪



それっ!



ストライク取るぞ!

なり、いざスタート。様々なジャンルを歌う人、踊りながら歌う人、皆の歌に耳を傾け微笑む人と、思い思いの楽しい3時間を過ごしました。この会で初顔合わせとなる入居者同士もいて、良い交流の場となりました。(関山)

東京1泊旅行

3月10~11日



後ろに見えるのがフジテレビ

今回の旅の目的は「お台場の等身大ガンダムを見る」「買物を楽しむ」でした。等身大ガンダムが見えた瞬間、皆さん「ウオー!」と、とても感激していました。実はこのガンダム変形します。タイミングが良く変形シーンをみる事ができましたが、皆さん見入ってしまったのは言うまでもありません。中には「操縦したい!」と興奮気味に話す人もいましたが、残念ながら操縦はできません。(笑)



変形前のユニコーンモード
「おお、かつこいい〜!」



東京土産もいっぱい買ったよ

その後はガンダムベースでプラモデルなどを購入しました。ガンダム以外では、フジテレビ、東京ジョイポリス、浅草寺、水上バス乗船、タミヤ模型専門店に行き、買物と観光を楽しみました。買った物の量が多すぎて帰りは大変でしたが、自由に買物ができて皆さん喜んでいました。「たくさん買ってよかった。仕事を頑張ってまた行きたい」との声も聞かれ、大満足の東京旅行になりました。(巧)



無病息災 御利益ありますように



川の上をすいすい



これから水上バスに乗ります

お悔やみ

故人を偲んで



去る3月15日午後11時45分、GHひばりに入居されていた金野翼さんが、入院先の岩手医科大学附属病院にて逝去されました。

病気が発見されてから4ヶ月余り、必死に病魔と闘い続けてきました。最後の最後まで「治してホームに戻りたい。仕事に復帰したい。京都や日光にも旅行に行きたい」と希望を持ち続けながらの闘病生活でした。

入院する直前の11月には鹿児島へ旅行にも行き、目一杯楽しんできた直後の入院。完治を目指し、苦しくても寂しくても諦めず前を向く姿勢はとて凛々しく、尊敬に値するものでした。

GH退居者

高橋 康文 さん

平成26年に萩の江から地域生活に移行し、5年間GHもみじ寮で生活していましたが、今年の3月に再び萩の江に戻ることになりました。折りしも世の中は令和元年。心機一転、萩の江での生活も楽しんで下やうね。(おみや)

GH入居者

八重樫 美幸喜 さん



本人が一番お気に入りだった写真

GHすみれ6人目の入居者として、4月から新たに加わることになりました。新しい土地での新生活、慣れないこともいろいろ出てくると思いますが、これからよろしくお願いします。(おみや)

地域活動支援センター

いきいき

萩の里

わくわく

みんな大好き 楽しいクッキング

萩の里では毎月クッキングを計画しており、月ごとに調理実習とおやつ作りを交互に行っています。

2月16日、調理実習としてカレーうどんとわかめサラダを作りました。各利用者



こんなにたくさん食べられるかな？

で作業を分担し、協力して調理を行うことができました。完成したカレーうどんは貝沢山で美味しく、心も体も温まりました。

3月23日には、おやつ作りでいちご大福をつくりました。特に生地の部分をつくるのに苦労しましたが、味は売っているものと比べても遜色無い出来栄でした。(菅原)



どれも美味しそう！

新年度もよろしく

萩の里は、萩の江通所部の職員が担当しています。新年度に伴い、新しい職員が入りました。現職員共々、どうぞよろしくお願いします。

萩の里の利用定員は20名となっておりますので、活動メニュー表を見て、希望の活動を申し込んでください。(菅原)



「もっと一緒にいたかった」

3月は別れの季節と言いますが、方光会では2・3月にかけて3人の方が亡くなりました。一緒に過ごした入居者、職員、誰が亡くなっても悲しく寂しく、悔しく虚しいものです。

1人はGHで生活していた33歳の男性で、病気の発覚からわずか4ヶ月で亡くなってしまいました。重い病气だと本人も理解し、それでも「絶対治して仕事に戻る」と辛い治療と向き合いました。支援する側もできる限りのことをしようと、身の回りのことやメンタル面での支えと尽くしました。

私の携帯には、彼とのメールのやり取りが数えきれないくらい残っています。本人は「こんなに頑張っているのになぜ」と悔しく思っていました。病气発覚の半月ほど前に鹿児島への泊旅行をし、眩しいくらい笑顔の写が残っています。この笑顔が続ける生活を支援したかった。今後、彼の死を無駄にしないように取り組みます。(沢口)



総会風景

平成 31 年度 方光会後援会総会 花見会

平成31年4月20日(土) 午後5時～
萩の江 食堂



総会後引き続き、恒例の花見会が同会場で行われ、後援会会員の皆様の他にも地域住民や施設関係者約50名が来設し宴会を盛り上げた。

4月に入ってから雪が降りたりして春が遠のき、萩の江周辺の桜はまだつぼみだったが、花見会は、福祉談議に花が咲き、カラオケや踊りも飛び出し、和やかな雰囲気の内
に閉会した。
(伝野)

4月20日(土) 午後5時より萩の江食堂において、平成31年度方光会後援会総会が開催され、大勢の会員参加の元、北上電工(株)社長照井寛幸氏が議長に選ばれ、平成30年度事業、決算及び平成31年度事業計画、当初予算が原案通り承認された。



花見宴会

平成 30 年度 後援会 事業報告 並びに 収支決算

事業報告	収支決算	
1. 総会及び花見会 H30.4.21(土) 萩の江食堂にて 100名参加	収入の部	決算額
	会費収入	591,600
	雑収入及び繰越金	1,340,899
	合計	1,932,499
	支出の部	決算額
2. 親睦旅行 H30.6.17(日)~18(月) 函館観光巡り、函館「希望ヶ丘学園」施設視察	会議費、事務費	28,400
	研修費	98,397
	事業費、他	451,519
	別途積立金	400,000
3. 感謝祭の協力 H30.10.14(日) 萩の江中庭にて 第43回感謝祭 500人以上	合計	978,316
4. 方光会忘年会協賛 H30.12.27(木) ホテルシティプラザ北上にて 163名参加		
5. 役員会 H31.4.10(水) 萩の江会議室にて、理事監事 11名出席		

(収入) 1,932,499 円 - (支出) 978,316 円 = 954,183 円 (次年度へ繰越) (特別積立金) 1,000,030 円

編集後記

新年度早々、季節が違ったような寒さと雪に驚きました。この所やっと春らしい温暖な気候となり、新元号は満開の桜と共に迎える事ができそうです。

さて、次号から令和時代の萩の江だよりがスタート。装いもそのまますにお届けします。
(克也)

後援会は、発足して今年で11年目になります。北上市内の協力事業所40社以上、個人会員150人以上の人々から毎年会費を頂き、施設運営にご協力頂いております。

秋に開催される感謝祭では、大勢の後援会会員の人が参加して、屋台コーナーを出店し感謝祭を盛り上げて頂いております。また、8年前の震災時には、施設の電気、水道が止まり困っていた時、地域住民や後援会から多くのご支援ご協力を頂いたことは、今も決して忘れることが出来ません。今後とも施設協力団体として発展していくことを願っております。
(伝野)